

キャリア形成卒前支援プランについて

兵庫県保健医療部医務課
医療人材確保班

■ キャリア形成プログラム運用方針の改定内容（R3.12.1）

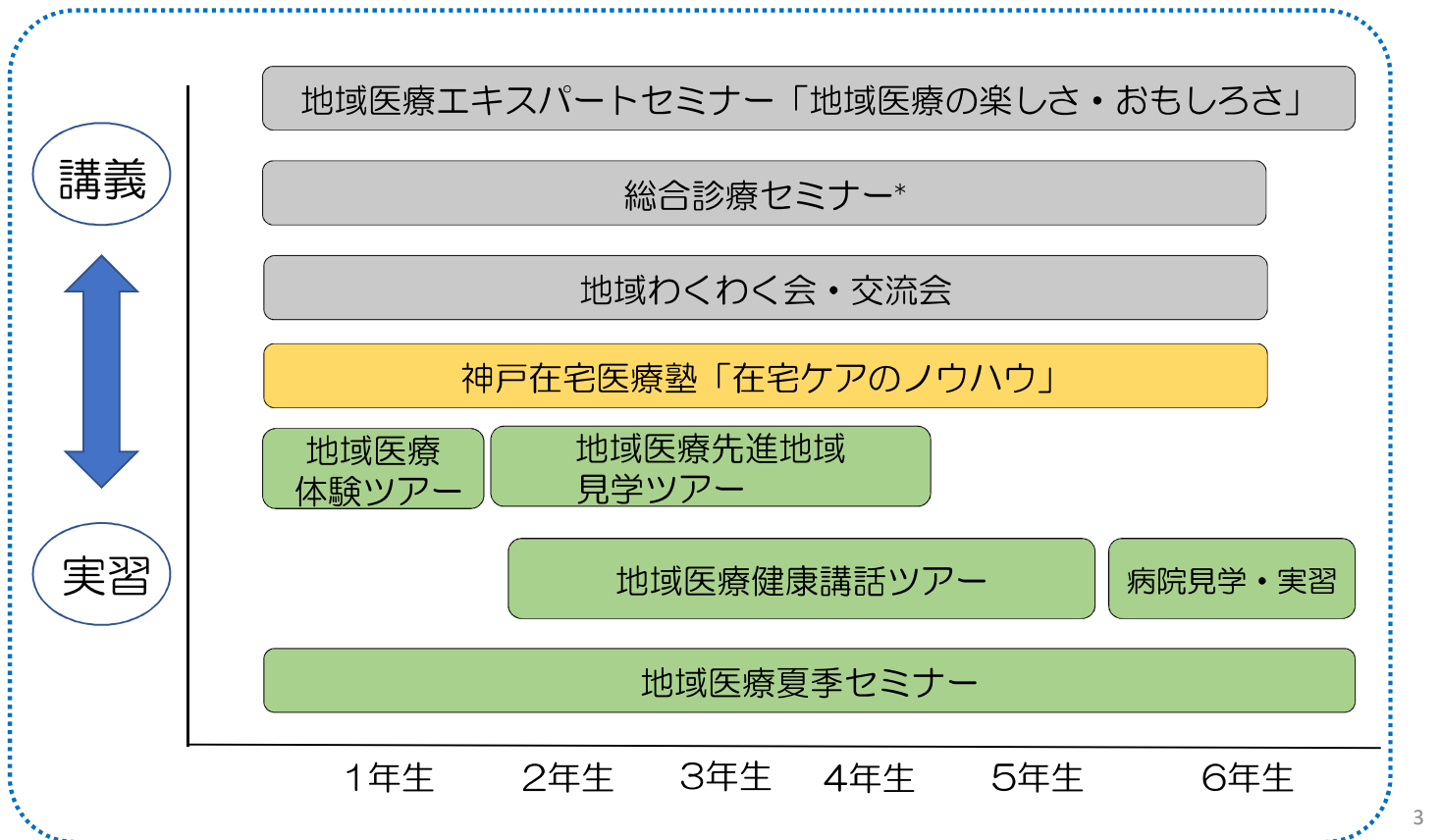
○ 概要

キャリア形成卒前支援プランとは、各大学で実施している医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識に涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として、都道府県が大学の協力を得つつ策定する計画。

○ 対象者

- ・ 地域枠で入学した学生
(兵庫医科大学、神戸大学、鳥取大学、岡山大学)
- ・ 自治医科大学の学生
- ・ その他キャリア形成プログラムに適用について同意した学生

■兵庫県のキャリア形成プランについて



3

■神戸大学医学部附属地域医療活性化センター



4

■ 地域医療体験ツアー

・ 県養成医学生「そよかぜ診療所」を訪問

神大などから1年生13人

朝来・山東の診療所訪問

へき地医療 医学生が体験

兵庫のへき地医療を担う人材育成を目的とした「地域医療体験ツアー」の一環として、朝来市山東町を拠点とする「そよかぜ診療所」であった。神戸大、兵庫医大、岡山大の医学生から1年生計13人が参加。岡本静子院長（左）、アイルメア（初）開診の指導医の体験を聞き、意見を交わした。（竹本拓也）

総合医療の最前線に触れてもらおうと、神戸大医師部付属地域医療活性化センター（神戸市長谷区）の岡山雅信特命教授が同診療所に協力を呼び掛け、昨年からは、卒業生が対象で、今回は神戸大以外からも参加があった。

発表した指導医3人は自治医科大学出身。旧馬の診療所を受け持った経験や、24時間体制で患者を守る在宅医療の実践例などを発表し、病気の早期発見や予防医療の大切さを説いた。学生たちは「1日80人前後の患者を受け入れる一方で、空手や旅行など趣味も満喫する医師たちの生活に驚き、どう両立できるのか？」など尋ねていた。

朝来市生野町出身で、地元で医師を志す岡山大の阿野悟去君18（岡山市）は、「地方で生き生きと働きたい姿勢に刺激を受けた。神戸大の山口真理子さん18（明石市）は、「総合医療の世界をリアルに感じられた。将来設計の参考になった」と話していた。

指導医が経験、生活語る



■ 地域医療先進地域見学ツアー

目的：地域医療・包括ケアシステムを先進的に取りこむ施設・地域の見学を通して、地域医療に対する理解を深める。

長野県 佐久総合病院 小海分院、小海診療所（予定）



■ 地域医療健康講話ツアー

目的：地域住民との対話を通して、地域医療マインドの向上を図る

丹波市、丹波医療センター、地域医療支援学部門と連携して実施



地区住民への
健康教室

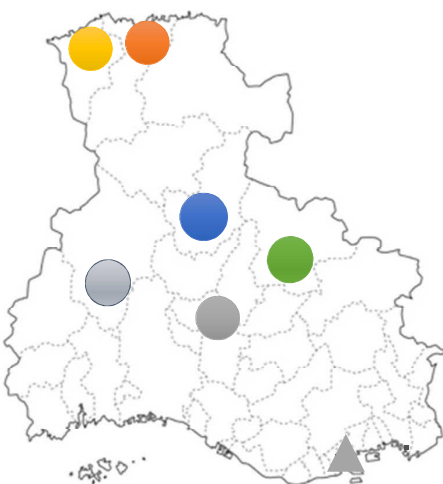
丹波医療センター
医学科・保健学科



7

■ 地域医療夏季セミナー

・地域医療活動の体験を通して、へき地保健医療に対する認識を高めるとともに、へき地での勤務に対する使命感の醸成および勤務に対する動機を促す。



新温泉町(公立浜坂病院)

香美町(公立香住病院)

朝来市(公立豊岡病院組合立朝来医療センター)

丹波市(県立丹波医療センター)

西脇市(市立西脇病院)

宍粟市(公立宍粟総合病院)



地域医療活性化センター
地域医療支援センター

※2019年開催の例

8

■ キャリア支援のための研修会

県養成医師に対して、県養成医制度を深く理解させるとともに相互の交流を深めることを目的としている。

【内容】

- 教育講演
- ワークショップ
- 兵庫県養成医制度の概要、基本領域に係る専門医の仕組み、後期派遣を見越した後期研修での選択診療科、契約期間（義務年限）終了後のキャリアパス等



9

■ 兵庫県養成医師臨床研修指定病院・研修内容説明会

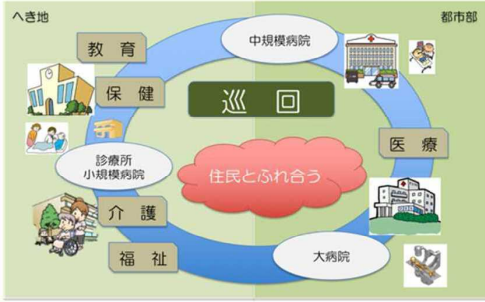
兵庫県養成医師の受ける臨床研修内容の情報交換ならびに研修の一層の充実を図る。



10

兵庫県のカリカ形成プランについてのまとめ

循環型地域医療教育・研修システム



多様性

地域医療の Specialist

後期派遣 2年

後期研修 2年

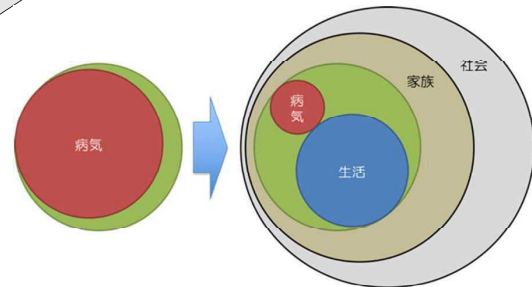
前期派遣 3年

臨床研修 2年

医学生 6年

契約期間 (義務年限)

マインド



住民と共に歩み、社会に貢献